

さち

新宿区政レポート

令和2年
第1回
定例会号

幸さちある新宿の街づくり

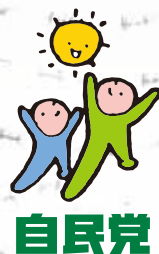
新宿区議会議員



大門

だいもん

さちえ



幸さちある新宿の街づくりへ

③つの公約実現中!!



働く女性への応援

子育て支援の充実をすることによって、
働く女性を応援します
妊娠期から、産前産後の相談事業の充実、
0歳保育をはじめとする待機児童対策、
小1ギャップ対策の実施、
習熟度別学習の実施など
切れ目のない子育て支援(ネウボラ)
を実現します



高齢者にもやさしい区政 安全安心の災害対策

高齢者にもやさしいIT化を推進します
だれもが便利で簡単に使いやすいシス
テムの構築と、わかりやすいマンツー
マンでの説明などもっと便利で暮らし
やすい区政を実
現します



災害対策の充実を図ります
備蓄品の更なる拡充と、災害時での
課題である配給体制を住民、企業と
協力して確立
し、被災地の
体験を活かし
た災害対策を
実現します



大門さちえ プロフィール

昭和44年生まれ
昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校、
昭和女子大学文学部英米文学科卒業
早稲田大学大学院商学研究科修了

会計事務所勤務 資産税担当
KPMG税理士法人勤務 国内・国際税務担当
神楽坂に税理士事務所開業
新宿区議会議員1期
東京都議会議員1期
税理士、行政書士

議員歴

2015年 新宿区議会議員(1期目)
2017年 東京都議会議員(1期目)
2019年 新宿区議会議員(2期目)
(現在) 文教子ども家庭委員
防災等安全対策特別委員会
議会運営委員会

大門さちえの要望が反映された 令和2年度新宿区事業概要



福祉 認知症対策の推進

認知症の人を支えられる地域社会の共生と、予防施策にさらに推進する必要があります。「共生」では、「認知症の人が尊厳と希望を持って認知症とともに生きる」、また「予防」では、「認知症になるのをおくらせる、なっても進行を緩やかにする」という視点が重要です。新宿区としては、認知症サポーター活動を推進して、登録者による地域における支え合いを広げていきます。



福祉 コミュニケーションの円滑化

障害の有無によって分け隔てられることなく、誰もが生涯にわたって社会参加できるように、聴覚・視覚障害者を初めとした障害者の意思疎通手段の確保が必要です。手話通訳者や要約筆記者の派遣を初めとする意思疎通支援事業の他に、区のホームページを音声での読み上げに対応しているなど、障害の状態に応じたコミュニケーションの円滑化をさらに推進します。



福祉 精神障害者への支援

精神障害者の地域での自立生活を支援するため、障害者生活支援センターにおいて宿泊型自立訓練等や、家事援助や介護などの介護給付事業を促しています。今後も生活訓練に一層注力して、生活基盤の確立や就労に向けた準備と共に、引き続き国及び東京都への心身障害者福祉手当の要望と、喫緊の対応として新宿区独自の支給などの実現を目指します。



総務 働き方改革への事務効率化

働き方改革の一つに残業をいかに減らすかがあり、事務の効率化を図ることが必要です。この視点から、事務につきものの紙、ペーパーをいかに減らすかが重要です。新宿区では、平成16年度から財務会計を初め文書の電子化を進めていますが、更なる区民サービスの向上及び働き方改革への対応として、窓口サービスや業務の見直し、デジタルファースト法への対応を推進します。



子育て 私立幼稚園 保護者負担の軽減

幼児教育・保育の無償化が実施され、私立幼稚園でも引き続き入園料が所得制限なく最大8万円まで補助されていますが、子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園に通う園児の保護者は入園料補助の対象外とされており、施設費など入園時に保護者負担が生じている実態を踏まえ、全ての施設での入園料補助制度の実現を目指します。



教育 ゲーム障害への社会の取り組み

WHOで国際疾病に認定されたゲーム障害は、ギャンブル依存症などと同じ精神疾患と位置づけられ、オンラインゲームなどに没頭するゲーム障害が世界各国で問題化しています。新宿区では対策として、各団体に協力を仰ぎ、インターネット利用に関する現状や注意点を学ぶ機会を設け、家庭内でのルールをつくることの重要性の普及啓発に努めてまいります。



防災 浸水時の避難計画

水防法と土砂災害防止法が改正され、洪水の浸水想定区域や土砂災害警戒区域内に立地し、要配慮者利用施設の所有者、管理者は、避難確保計画の作成と訓練の実施が義務化され、全国レベルの策定2.3%に対して、新宿区58施設のうち41施設で、70.7%と高水準ですが、要配慮者の安心安全の確保のため、未策定の施設に、引き続き計画の策定と訓練の実施を働きかけてまいります。



防災 水害対策の推進

降雨75ミリ対策は相当程度向上していると言われますが、大型台風や局地的集中豪雨が増加している最近の傾向から、水害の危険性については、まだまだ楽観視できません。新宿区としては豪雨に対する安全性向上のため、地下広域調整池の早期完成を東京都と連携して実現します。また、洪水ハザードマップ等を活用した地域の防災勉強会の実施を拡充します。

